



2013
2014

AÑO DUAL ESPAÑA-JAPÓN
日本スペイン交流400周年
400 AÑOS DE RELACIONES

日本スペイン交流400周年事業 ＜写真資料＞



平成26年8月
在スペイン日本大使館



日本スペイン交流400周年事業の意義

★我が国からスペインへの最初の公式使節である支倉常長率いる慶長遣欧使節団の派遣から400周年を記念して実施。
★2013年6月から2014年7月まで日本とスペインの相互理解の促進と二国間関係の新たな展望を拓く契機とするため、政治、経済、文化、学術、教育、観光等の幅広い分野で交流事業を展開した。

使節団が辿った航路



セビリア県
コリア・デル・リオ市
にある支倉常長像



「慶長遣欧使節関連資料」の ユネスコ記憶遺産登録

交流年の開幕に合わせ、2013年6月、日本とスペイン政府の共同提案により、仙台藩主伊達政宗が使節としてスペイン及びローマに派遣した支倉常長が持ち帰った遺品のうち「支倉常長像」(左写真)を含む資料や記録文書がユネスコ記憶遺産に登録された。

交流年ロゴマークの設定

日西双方で共通の交流年ロゴマークを作成し、交流年の広報に使用した。



日本スペイン交流400周年 親善大使の任命

スペインに関わりの深い日本の著名人である写真家の関口照生氏、女優の竹下景子氏、漫画家の井上雄彦氏を親善大使として任命した。交流年期間中、3名の親善大使は、交流年事業の広報等で活躍された。



公式マスコットの設定

スペイン人デザイナーで1992年のバルセロナ五輪のマスコットのデザインをしたことでも有名なハビエル・マリスカル氏が交流年公式マスコットを制作した。



交流年テーマ音楽

日本人作曲家・ピアニストとして日西両国で長年演奏活動が続けてきた川上ミネ氏が交流年のテーマ曲を制作した。





記念切手・記念硬貨の発行



記念切手

日本郵便は、交流年を記念した記念切手を発行した。



記念硬貨

スペイン王立造幣局は、交流年を記念した額面10ユーロの記念硬貨を発行した。



開幕記念音楽会

2013年6月11日、当国で最も格式の高いオペラハウスであるテアトロ・レアル劇場（王立劇場）にて、交流年の名誉総裁であられる我が国の皇太子殿下及びフェリペ皇太子同妃両殿下（当時）の御臨席を得て、日本スペイン交流400周年事業の開幕を記念する音楽会を開催した。

「サムライ支倉の大いなる旅」と題する同音楽会は、作曲家・ピアニストの川上ミネ氏が、日本人として初のスペイン国王及びローマ教皇に派遣された支倉常長を長とする慶長遣欧使節団の7年間にわたる大いなる旅から着想を得て、作曲・演奏した。また、フラメンコ歌手ミゲル・ポベダ氏、フラメンコ舞踊家 小島章司氏、タレント 今井翼氏（スペイン側交流年文化特使）、バルビエリ交響楽団等両国の一流の芸術家が共演した。同音楽会には、1200名を超える観衆が集まった。



要人往来



皇太子殿下のスペイン御訪問 (2013年6月10日～15日)

皇太子殿下は、日本スペイン交流400周年名誉総裁としてスペインを公式訪問され、マドリードでの歓迎式典、日西経済合同委員会、国王王妃両陛下主催晩餐会等に御臨席された他、サラマンカ、セビリア、コリア・デル・リオ、サンティアゴ・デ・コンポステーラを御訪問された。左写真：マドリード王立劇場での開幕記念音楽会の様子 (2013年6月11日)

スペイン・ラホイ首相の訪日 (2013年10月1日～3日)

ラホイ首相は公式実務訪問賓客として訪日。安倍総理と共同声明「平和、成長及びイノベーションのためのパートナーシップ」を発表した。また、天皇陛下の御引見、日本・スペイン・ビジネス・フォーラム開会式、第16回日本・スペイン・シンポジウム開会式に出席の他、ヨーロッパ諸国の首相として初めて福島市も訪問した。

右写真：日本・スペイン首脳会談の様子 (2013年10月2日)



岸田外務大臣の訪西 (2014年1月7日～8日)

岸田外務大臣は、本年最初の外国訪問先としてスペインを訪問し、ガルシア＝マルガージョ外務・協力大臣との間で外相会談を行った。また、フアン・カルロス世国王陛下謁見、ラホイ首相表敬を行った。

左写真：外相会談の様子 (1月7日)

安倍総理大臣の訪西 (2014年5月4日)

安倍総理大臣は、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ市を訪問し、ラホイ首相と昼食を共にしつつ会談した。また、安倍総理夫妻はラホイ首相夫妻の案内により大聖堂などを視察した。

右写真：モンテ・デ・ゴソ視察の様子



議員交流

ガルシア＝エスクデロ上院議長、ポサーダ下院議長が訪日した他、日本側からも衆議院・参議院公式派遣の議員団7組がスペインを訪問した。また、交流年を機にスペインでは西日友好議員連盟が再結成された。



政策対話

第16回日本・スペイン・シンポジウム

(2013年10月3日) (右写真)

日本における交流年開幕記念行事の一環として行われた「第16回日本・スペイン・シンポジウム」には、ラホイ首相と岸田外務大臣が出席し、技術革新（イノベーション）と新興市場における企業協力をテーマに日西両国の有識者が活発な意見交換を行った。



写真：EFE



日本の科学技術関連シンポジウム

(2013年10月28日) (左写真)

「福島原発事故の教訓」と題した講演会が、ラモン・アレセス財団主催で、元日本政府福島原発事故調査委員会委員長の畑村洋太郎東京大学名誉教授を招いて行われた。

写真：ラモン・アレセス財団

日本・スペイン知的対話：再生可能エネルギーの推進と環境保護

(2013年11月27日)

カサ・アジア、国際交流基金が王立エルカノ財団と共催で、富士通総研の高橋洋氏を招き、特に2011年の福島原発事故後に注目を集めている再生可能エネルギーについての講演会を行った。

プラド美術館日本美術展 (2013年6月11日から7月9日)

(右写真)

交流年の開幕を記念し、特別展として「流水四季草花屏風」（酒井抱一作）及び「鶴鹿図屏風」

（尾形光琳作）の琳派屏風展を開催した。また修復を終え、初めて一般公開されたプラド美術館所蔵浮世絵展（約30点）も併せて開催した。



写真：プラド美術館

伝統文化



南蛮漆器：スペインに残された日本の足跡 —慶長遣欧使節400周年—展

(2013年6月29日から9月29日) (左写真)

南蛮時代(1543-1639)に、支倉常長率いる慶長遣欧使節団の派遣を通して日本とヨーロッパとの交流が開始された時期の歴史資料や日本独自の技術である漆を使った蒔絵を中心とした工芸品を紹介した。

同展は、日本とスペインの日本美術研究家が協力して企画されたもので、知られざる日本とスペインの交流史を明らかにするとともに、スペインの両国の研究者相互の交流の機会としても高い成果を上げた。



「日本の書展」スペイン巡回展

(マドリード展 於：スペイン国立図書館)

(2013年11月14日～2014年2月2日)

日本の代表的な現代書家の作品約91点の展示の他、日本の書家2名による書道デモンストレーションを実施。サラマンカ（サラマンカ大学日西文化センター：2014年2月11日～3月14日）、メリダ（エストレマドゥーラ州議会ホール：2014年4月4日～28日）、アリカンテ（アリカンテ大学付属美術館：2014年5月26日～7月26日）において地方巡回を行い、計24,000名に上る入場者を得た。

右写真：マドリード展における書道デモンストレーション



浮世絵展「国貞と歌川派の世界」

(Fantasía en Escena : Kunisada y La Escuela Utagawa)

(於 サン・フェルナンド王立美術アカデミー：

2014年5月15日～7月10日)

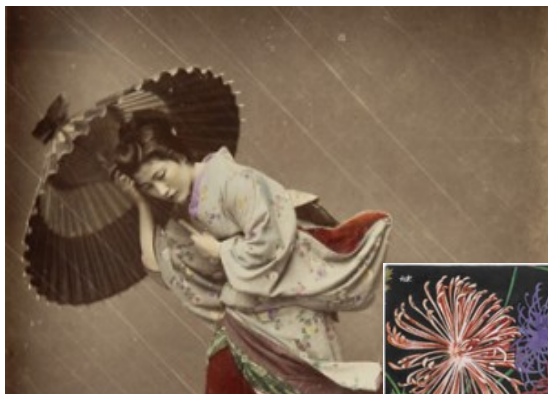
スペイン王立薬学アカデミー所蔵の約500点の浮世絵作品の中から、116点を厳選し、国貞を中心とした歌川派の世界を紹介する浮世絵展を実施した。

池坊特別華展及び講習会

(於 サン・フェルナンド王立美術アカデミー：2014年5月29日～6月3日)

日本で最古の歴史を誇り、最大の華道流派として知られる池坊より、家元である池坊専永宗匠をお招きするとともに、日本、ヨーロッパ及び北米から多くの池坊会員が参加して華展及び講習会を開催した。





ジャポニズム展

(於: バルセロナ カイシャ・フォーラム: 2013年6月14日～9月15日
マドリード カイシャ・フォーラム: 2013年10月17日～2014年2月16日)

(左写真)

19世紀半ばに日本美術の影響を受けた「ジャポニズム」作品を集めたスペインで初めての展覧会。ヨーロッパにおける日本美術の影響を紹介した。



サラゴサ折り紙博物館の開館

(2013年12月18日) (右写真)

欧州で初の折り紙専門の常設博物館がサラゴサ市歴史文化センター内に開館した。

折り紙を通じた日本とスペインの交流史を始め、様々な技法を駆使して製作された世界中の折り紙作品が数多く展示されている。



囲碁棋聖戦の開催

(於: アルカラ・デ・エナーレス 2014年1月11日～12日)

(左写真) 交流年を記念して、最も権威ある囲碁大会として知られる第38期囲碁棋聖戦7番勝負第1局が開催された。囲碁棋聖戦の海外開催は6年振りで、スペインでは初めての開催となった。

日西交流400周年記念「曾根崎心中」 マドリード公演

(於：エスパニョール劇場

2013年9月27日及び28日) (右写真)

世界的に著名な現代美術作家 杉本博司氏が、
伝統芸能「人形浄瑠璃」の代表作近松門左衛門
『曾根崎心中』に斬新な演出を加えて公演された。



近現代文化



「藝○座・日本を踊る」日本舞踊 古典と現代
(2013年9月21日、24日、27日) (左写真)

日本の文化庁より文化交流使に指名された若手日本舞踊集
団「藝○座」が、マドリード、バルセロナ、マラガにて公演
及びワークショップを行った。

大駱駝艦公演

(於：マドリード カナル劇場 2013年11月7日から9日)

(右写真)

舞踏集団「大駱駝艦」が、創立40周年を記念し、創立者
磨赤兒氏演出の最新作『ウィルス』をマドリード国際ダン
スフェスティバルで披露した。





アンドロイド演劇「三人姉妹」公演

(バルセロナ、マドリード、2013年7月2日～10日) (左写真)

「ジェミノイドH1-2」の開発で世界的に知られる大阪大学・石黒浩博士と、日本を代表する劇作家・演出家の平田オリザ氏が共同参加し、近未来の日本を舞台にチェーホフの『三人姉妹』を脚色したアンドロイド演劇が初めてスペインで上演された。

「竜馬四重奏」公演

(2014年3月22日：マドリード、24日：サンタンデル、25日：ビルバオ、26日：マドリード) (右写真)

西洋楽器と日本の古典楽器をミックスした若手音楽グループ「竜馬四重奏」が、マドリード、サンタンデル及びビルバオの各都市で公演を行った。



日本現代ファイバーアート展

(マドリード コンプルテンセ大学博物館

2014年4月4日～5月30日) (左写真)

ニューヨーク、ヘルシンキ等世界各地で好評を博した現代の日本人作家30名によるファイバーアート作品を集めた展覧会が開催された。

松本蘭・近藤亜紀バイオリン & ピアノコンサート

(於: マドリード、クエンカ、アビラ 2014年7月8日～16日)

交流年の閉幕を記念して、日本の童謡・伝統音楽とサラサーテ等スペイン作曲家の作品が披露され、両国の文化交流が演出された。



さくや姫文化使節団「天地人」公演

(於: マドリード、トレド、セゴビア 2014年6月22日～24日)

交流年を記念して、また東日本大震災からの復興を願い、東北を活動拠点とする津軽三味線とパーカッションユニット「天地人」と日本舞踊、フラメンコギターのカニサレス氏等が共演した。

榎戸二幸 琴公演

(於: マドリード、バジャドリッド、バルセロナ 2014年7月2日～13日)

交流年の閉幕を記念して、箏曲家で文化庁文化交流使の榎戸二幸氏が、新旧バラエティに富んだ楽曲を卓越したテクニックで披露した。バジャドリッドでは地方局の番組に生出演した。





スポーツ交流

ラグビー日本代表スペイン遠征

(2013年11月16日～24日) (右写真)

ラグビー日本代表がスペインで強化トレーニングを行うとともに、11月23日にはコンプルテンセ大学競技場にて、スペイン代表とのテストマッチを行い、約6,300人もの熱心なラグビーファンが観戦した。



日西青少年サッカー交流大会

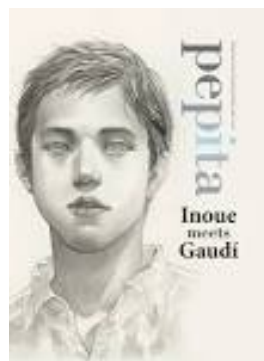
(2014年3月23日～26日) (左写真)

日本のサッカーチーム 清水エスパルスのユースチームの代表が、レアル・マドリードを始めとするマドリードのユースチーム4チームと対戦した。試合が行われたシウダ・デ・フットボールでは、大会を記念して桜の植樹が行われた。





ポップ・カルチャー



井上雄彦交流年親善大使の活動

井上氏は2012年にガウディをテーマにした画集『pepita (ペピータ) (井上雄彦 meets ガウディ)』を発表した他、2014年7月から9月にかけて東京・六本木の森アーツセンターギャラリーで展覧会「特別展 ガウディ×井上雄彦 - シンクロする創造の源泉 - Takehiko Inoue interprets Gaudi's Universe」を開催した。



第19回サロン・デル・マンガ

(2013年10月31日～11月1日) (右写真)

バルセロナにて、ヨーロッパ最大級のマンガ・アニメーションの祭典が開催された。4日間で約11万5000人を動員した。



エキスポ・マンガ

(2014年5月 マドリード カサ・デ・カンポ) (左写真)

マドリードにて、マンガ、アニメ、日本文化をテーマにしたマンガの祭典が開催された。



学術交流・日本語教育

日本スペイン大学学長交流会議

(於：サラマンカ大学 2013年11月7日) (右 写真)

交流年を記念し、サラマンカ大学及びスペイン学長会議（CRUE）の共催で、日西大学学長会議が初めて開催された。スペインの35大学、日本の15大学の学長及び代表者が出席し、両国間の学術・研究交流の促進に向け積極的な意見交換が行われた。



第1回日本語劇コンクール

(於：マドリッド・コンプルテンセ大学：2014年6月27日) (左 写真)

テーマ「○○を待ちながら」(サミュエル・ベケットの「ゴトーを待ちながら」に着想を得ている) に対して、スペイン7大学の語学センターの学生が自ら脚本・演出・出演し、持ち時間10分で演劇を行い、優勝杯「日本大使杯」を争った。



第25回 日本語弁論大会

(於：セルバンテス協会本部、2014年2月28日) (右写真)

全国の予選を勝ち抜いた19名の参加者が3部門に分かれて日頃の日本語学習の成果を競い合った。今回の大会では初めて「外国人の部」が設けられ、スペイン以外の国籍を有する学習者が4名参加した。





経済交流

スペイン・ビジネス・フォーラム

(於：東京 2013年10月2日) (左写真)

スペイン側交流年事業の開幕を記念して実施されたラホイ首相の訪日に合わせて、スペイン・ビジネス・フォーラムが開催され、スペインを通じた欧州・中南米など第三国市場での事業展開や、国際競争力強化を目指した労働改革の骨子・成果などが紹介された。また、スペインにおける日本企業の活動事例や、スペイン企業のグローバル展開の事例も紹介された。



日本スペイン首脳会談後には、両国首相の立ち会いの下で、税関相互支援協定が結ばれた。(右写真)



日西経済合同委員会

(於：王立造幣局 2013年6月11日) (左写真)

両国皇太子殿下のご臨席の下、日西経済合同委員会が10年ぶりに開催され、二国間の貿易・投資の拡大やアジア・中南米等の新興市場での協業の促進について議論が行われた。





観光・食文化

マドリード国際観光見本市 (FITUR) 日本ブース出展

(於: マドリード国際見本市会場 (IFEMA) 2014年1月22日～26日)

(右写真)

在スペイン日本国大使館、日本政府観光局 (JNTO) パリ事務所、国際交流基金及び共同出展者 (航空・鉄道会社、旅行会社、自治体等) と共同で、欧州最大規模の国際旅行見本市「FITUR 2014」に日本スタンドを出展した。日本観光誘致活動の他、書道、和装デモ、折り紙、日本食デモ等の日本文化紹介事業を行った。

開催期間中、約22万人が来場した。



サロン・デ・グルメ

(於: マドリード国際見本市会場 (IFEMA) 2014年3月10日～13日) (左写真)

スペインを代表するグルメ博として知られる同イベントは、本年日本を「特別招待国」として開催された。日本パビリオンでは、スペイン側文化交流大使に任命された服部幸應氏の協力を得て、日本産牛肉を使用した日本食デモンストレーションや日本酒の試飲が行われた。

マドリッド・フシオン

(於: マドリード国際会議場、2014年1月27日～29日) (右写真)

国際料理研究学会、食品展示会として国際的に知られる「マドリッド・フシオン」では、日本スタンドを設置し、日本食の紹介等をイベント等を実施し、好評を博した。



地方行事



バレンシアの火祭り (FALLAS 2014)

(バレンシア:2014年3月)

(右写真)

スペイン三大祭の一つとして知られる「バレンシアの火祭り (FALLAS 2014)」では、「ファジャ (Falla)」と呼ばれる大きな人形「ニノット」群が設置される。「日本スペイン交流400周年」を記念したファジャも製作され、多くの見物客を集めた。



熊野古道のサンティアゴ巡礼道の交流

(ガリシア州他 2014年5月12日～16日) (左写真)

ユネスコ世界遺産に指定され姉妹道提携を持つ熊野古道とサンティアゴ巡礼道の交流。和歌山県交流団がスペインを訪問するとともに、田辺市とサンティアゴ市の観光協力協定が結ばれた。

ポンテベドラ・椿祭り

(2014年3月11日～13日) (右写真)

ガリシア州では、大航海時代以降に日本から持ち込まれた椿が栽培され珍重されている。国際椿会議開催に合わせ、日本文化紹介事業を実施した。



コルドバ日本文化月間

(於:コルドバ 2014年3月12日～30日)

(右写真)

コルドバ観光局との共催で、書道、舞踊、日本画、盆栽、琴、三味線等多岐にわたる日本紹介事業を行った



バジェ・デル・ヘルテ桜祭り

(エストレマドゥーラ州エル・トルノ市、2014年3月21日～5月3日) (下写真)

バジェ・デル・ヘルテ渓谷は、欧州で有数のさくらんぼの産地であり、毎年3月には日本の習慣を真似て、スペイン全国から花見客が訪れることで知られる。本年は交流年を記念して、「桜祭り2014」開会式典に佐藤大使及び州政府要人が多数出席し、琴や太鼓の演奏等日本文化紹介事業を行った。



東日本大震災復興関連事業



元気な日本展 (左写真)

(マドリード他、2013年6月～2014年7月)

東日本大震災に際し、被災者がいかに困難を乗り越えようとしたのかをテーマにした写真展。マドリード展オープニングには両国皇太子殿下が出席された。その後、スペイン国内6都市を同展覧会が巡回した。

東日本大震災発生3周年追悼式典

(コリア・デル・リオ、2014年3月11日)

支倉常長のゆかりの地であるコリア・デル・リオ市において、東日本大震災発生時刻に合わせて、現地地方自治体要人、市民及び著名な日本人デザイナーであり同事業の発起人である高田賢三氏を始めとする日本関係者が支倉常長像の前で祈りを捧げた。

右写真:被災地の仙台(青葉城)、岩手県(中尊寺)、ロンドン(セント・マークス教会)を結んでの同時中継の様子



東日本大震災3周年及びマドリード列車爆破テロ事件10周年追悼コンサート

(コルドバ大聖堂(メスキータ)、2014年3月11日)

コルドバ日本文化週間前夜祭において、日本人ピアニストの川上ミネ氏による追悼コンサートが行われた。

下写真(MAZDA ESPAÑA):大聖堂でのコンサートの様子



東日本大震災の追悼ミサ

(セビリア大聖堂、2014年3月11日)

上智大学で長く教鞭を執られたフェルナンド・ガルシア・グティエレス神父を中心にセビリア大聖堂において追悼ミサが行われた。

(左写真)





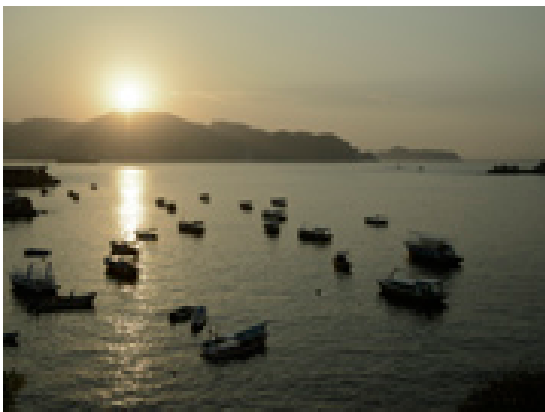
閉幕記念行事

関口照生写真展「支倉の道」

(於：サン・フェルナンド王立美術アカデミー 2014年7月15日～8月15日)

日本人として初めてスペインに派遣された慶長遣欧使節団の長であった支倉常長が辿った旅程を、写真家であり交流年親善大使を務める関口照生氏が再訪し、石巻からメキシコ、スペイン、ローマへと続く風景や人々を描いた写真展。

オープニングには、関口照生・竹下景子両交流年親善大使、佐藤大使、アスナールスペイン側交流年担当大使、佐々木交流年委員長、ボネット・サンフェルナンド王立美術アカデミー館長他、当国日系企業関係者、文化関係者、在留邦人等約150名が出席した。



閉幕記念音楽会

(於：テアトロ・リアル劇場 2014年7月15日)

交流年の閉幕を飾る音楽会をテアトロ・リアル劇場 (王立劇場) にて開催した。

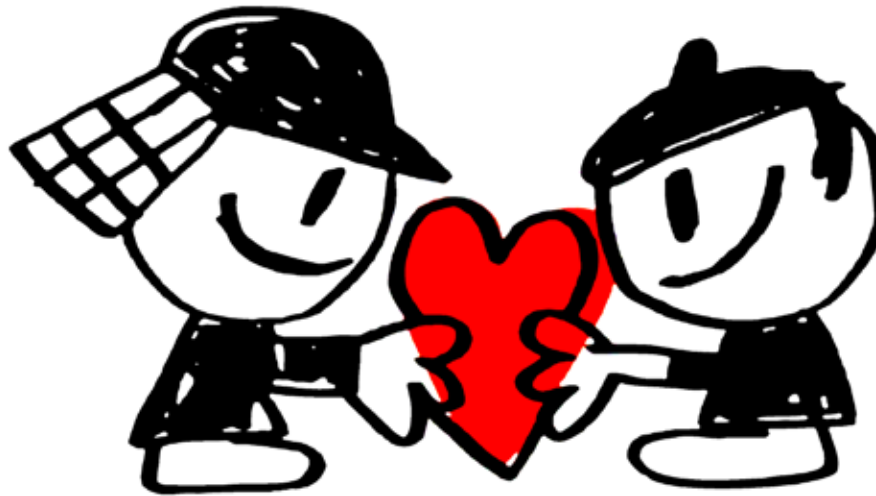
日本人作曲家・ピアニストの川上ミネ氏が、昨年6月の開幕記念音楽会の続編として、「サムライ支倉の大いなる夢」と題し、支倉一行の日本帰国、支倉の死、そして未来永劫に亘るスペインとの友好親善と交流の願いをテーマとして作曲・演奏した。

著名なスペイン人フラメンコ・ギタリストのカニサレス氏、コリア・デル・リオのサンタ・マリア合唱団及びマドリード日本人学校・補習校生徒有志他の協力を得て開催した。

音楽会には、デ・ベニート外交長官、ペレス・デ・ロス・コボス最高裁判所長官、リンデ中央銀行総裁、ヒメネス元外務大臣他約1200名が出席した。



日本スペイン交流400周年事業の開催に
ご協力いただき、誠にありがとうございました。



交流年事業の詳細は、交流年HP <http://www.esja400.com> をご覧下さい。